



患者さんインタビュー

今までは、ここ削りましようとかね、いきなりジージー削られたりして、まあそういうもんだと思っていましたから Mさん 前編

隅田(以下S)…先ほどカルテ拝見してたんですけど、Mさん2003年の5月が初診だったんですね。9月にデンタルドックを受けて頂いているので、逆算したらもう10年経ちました。

M…あの時やってなかったら大変なことになってました。考えるとゾクゾクします。

S…ご主人が先、一年前に来て頂いて、

M…はい、もう限界の状況でしたから、飛び込んできたんですけど、ああいう状況でも普通に生活している人は他にもいっぱいいるでしょうから、まあいいか～別に命に関わるとかそうじゃない、だからほっておくこともできたんですけど、まあ引きずられるようにして、私にとっては幸いでしたね。悪くなりすぎてしまっていたら大変なことになっていたと思いますけど、隅田さんに「大丈夫ですよ、80歳まで大丈夫ですよ、」って言って頂いて、心がリラックスしてそれで、お願いしようって、もう10年ですもんね～。最初の頃は大変でした。

S…私も実際のところはどうなるかな～って思いながらでした。(笑)

M…歯石を取ってもらっている最中はガリガリとすごい音がして、毎回わ～すごいな～と思って、自分では絶対出来ませんからね。取れないし、本当よかったです～と思ってます。隅田さん大変だったでしょう。腱鞘炎にならない？

S…私ですか？

M…心配ばかりしていました。肩や腕は大丈夫になって。

S…ありがとうございます。大丈夫でしたよ。

M…何回かにわけて、やってくれましたよね～。

S…はい。外科的に治療もせず、私の歯石取りでなんとか・・・っていう事だったので、もう責任重大でもありましたし。大丈夫かなと思いましたが、全体的に歯周病の状態でしたから、多分あの時点で取ってなかったら10年たった今の骨の位置はキープ出来ていなかったでしょうね～。あのままだったら多分お口の中が出血や膿の状態で、もうすでに何本か抜かないといけなかったと思われそうですね～

M…予防っていう重篤な状態になる前に兆候があるうちに潰しておこうっていう、そういう発想っていうのは、私くらいの年代だと、やっぱり歯医者さんに対しての考え方って違いますからね。悪くなった時に行くもんだって、そういう考えでしたから。振り返ったらあの時がラッキーだったっていうのと、もしあの時治療してなかったら今どうなってたのかって思うと、ぞっとしますね～。

S…職業的にもお話しする職業ですしね。発音とかもあると、歯って大事ですよ。

M…そうなんです。私、発音がメインなものですから、それが出来なくなっちゃたらどうにもならないですからねえ。だからそういう意味でも良かったですし、やっぱり自分でも口臭があるかなっていうふうに思った事はあったんですけどね。やっぱりそういうの傍からなかなか言ってくれないし、言われても嫌な気がしますからね～。専門の方にちゃんと原因とか理屈で話してもらえると受け入れやすいので、私はすごく足立歯科に来て良かったです。

S…出血率も、一番初めの75%からスタートだったんですけど、さっき測らせていただいた結果、一桁台の8.3%でしたし、ずっとここ最近は一桁台ですものね～。

M…まあ本当にね、出血するってことはほとんどないですよ。前だったらちょっと出血してもそこらへんに力入れすぎたんだろうとか、自己診断してやり過ぎっていうかね、そういう事をしてましたから。もう本当にね、生徒達にはちゃんと勉強なさいとかって言いながら、自分がそういうことではいかなですよ。だけど、自分の体のことっていうのは、やっぱり病院に行きたくないですからねえ。誰しもね。だからぎりぎりまで、大丈夫だって思ってる所がありますからね。

S…なるほどね～。

M…やっぱり、専門っていうのは凄い事だと思います。とにかくいろんなケースを知ってらっしゃることと、それから、治すっていうかこれ以上悪くしないっていう方法を知ってらっしゃるので、その人にあわせて、じゃあどうしようかって色々考えて下さって。やっぱりそれ素人ではだめですよ。歯をよく磨こうぐらいしか思わないですからね～。

S…歯石は一旦ついてしまったものは、磨いても取れませんからね～。

M…はい、取れないです。だからね、専門科行かなきゃだめですね。ちゃんとした所でものを聞いたりしないと。噂話の世界じゃいけませんよねえ。

S…よく「私の口の中は隅田さんの作品ですから」って言って下さるじゃないですか。その表現がすごく私好きなんですけど(笑)

M…本当作品ですよ～。だって自分では出来ないですし、当初やっていたいている時は、ほ～んと申し訳

ないなって思ってね。

いくら、自分の仕事とはいえね、よくこんなにまで手を抜かず、自分の体、体重までかけてやって下さる。それがあつたおかげよ～。絶対自分では出来ませんよ。今から振り返れば。別にもう金額なんぼって言われてもね、しょうがないっていうか、お支払しますって感じです。いくつまで生きるか分かりませんが、年老いて食べ物が自分の歯で食べられて、味わえて、喋れて、で、とにかく自分の歯の不快な事を一切考えないで過ごせる訳でしょう。これは、凄い事です。だって心配ごとって増えてくるもんじゃないですか。でも、歯に関しては心配しなくても良い。そういうものがひとつあるっていうのは気が楽っていうか、本当にありがたいです。

S…そう言って頂けると・・・

M…ずっと、いつまでもお願いしたいです。皆さんこういう職業される方っていうのは、恐らく気質としては、きれい好きっていうか、小さな事どうでもいいやと思わない性分の方なんじゃないのかなと思います。本当、こんなようやって下さいました。人の歯なのに。恐らく、あなたの家に行ったらきれいに片づけてるんじゃないですか？

S…そうでもないですよ(笑)

M…職業と自分の気質っていうのはあっているでしょうし、だからやっていけるのかも。私くらいの世代って、歯医者さんに行って予防の為にちゃんと取り組んでもらうことを知らない人も多いと思うんです。歯石って治療の合間にちょっと取るイメージというか・・・。

S…そうですね～、まだまだ日本人の方には、浸透していない状況もありますよね。

M…そう。だからお願いしたいと思います。多少費用はかかりますけど、でも自分の10年、20年先の投資だと思えば、なんて事ないですよ。

(次号 後編へつづく)



Mさん

当院の隅田

病気になる前にアドバイスをしてもらいに行くといいかな… 気軽に歯医者さんに行けたらいいのかなあ。

Mさん 後編

Mさん…お口の病気を予防することは自分の10年、20年先の投資だということは、価値観の違いはなってくるんですけど、でもそういう長い目で考えたらきっちり取り組めば、価値はありますよね。自分の10年、20年先が保障され、なおかつ、なにかあったらすぐに駆け込んでいけるところがあるという安心感はすごいことですよ。

隅田(以下S)…そうです、そうです。

Mさん…そういう意味でも、やっぱり早いうちにやればもっと楽にできるんでしょうし、病気になったらいくところっていう考え方から、病気になる前にアドバイスをしてもらいに行くといいかなあ。考え方をね、変えるっていうことが必要でしょうね。まあ、若い世代の人達なんかは、小学、中学校くらいの時から、病気になったら行くところじゃないんだよっていうね、そういう指導があったり、教育があれば良いと思います。

とにかく健康でね、重篤なこともなく、自分の与えられた生命を生きられたら、それが一番幸せなことなんだろうから、そういうふうな長い目で自分のことをそれぞれ大切にできればいいな～と思います。

足立歯科と出会えて、宝くじに当たった感じで、本当ありがたいと思います。宝くじなかなか当たりませんからね～。

いや～あのね、足立先生本当にゆっくりお話を聞いてくださって、こちらの緊張した気持ちがだんだんほぐれてくるというか、「なんでもいいですよ、どんな些細なことでもあったら言ってください。」って優しくおっしゃってくださって、検査結果のお話も一生懸命説明してくださり、よく現状がわかりました。自分の口の中をなんとかしなきゃなんないって思いましたねえ。でも、おどかさばかりではなく、大丈夫です大丈夫ですっておっしゃってくださって、シュミレーションを作っていたら、今よりよくなっていきますというそのお話が説得的だったの

で、覚悟を決めたという感じですね。

歯医者さんに行って、今まで大丈夫ですからってあんまり言われたことなかったの。

S…そうですか、そうですね～。

Mさん…今までは、ここ削りましようとかね、いきなりジージー削られたりして、まあそういうもんだと思っていましたから。ともかくまず、お話をして不安な気持ち、わからないところ、そういうのを受けとめますよ、大丈夫ですよって、そういう波動が伝わってきましたから。やっぱり、恐怖症の人間にとってはお医者さんに“う～ん”って首をかしげられると、もうそれだけで不安になりますから、大丈夫ですよ大丈夫ですよって首を縦に動かしてもらえると安心します。

S…横じゃなくて、縦にねえ～。

Mさん…なんかこう、その時点で治るんだっていう感じがしましたね。まあ、治るっていても、悪くならないことですけども。

S…メンテナンスは3カ月ごとに通っていただいています、感想はございますか?

Mさん…いいと思います。季節ごとにお互いにお会いできますから。

S…近況報告なんかもありますね。

どなたかに、この自分の体験を話すとか、そういう機会とかはございますか?

Mさん…あんまりそういう話はないですね。あ～ただね、私甥っ子にし

Mさん

ました。私の甥っ子ですから若いんですけど、口臭がしたんですよ。それで、歯医者さんに行きなさいって言って、東京ですからこちらには来られませんが、言いましたね。歯を磨いたりそんなんでごまかせないよって言いましたね～。若いうちから口臭がするようではね～。

どれだけ恐ろしいことかって知らないでしょうね～。がたがたになる前に、とにかく歯医者さんに行きなさいって言いました。

S…なるほど。

では、治療を受けた時と受けた後とは生活状況に変化はありますか?

Mさん…とにかく治すのは自分ですからって言われましたで、それ本当によくわかる。だからとにかく、歯を磨くってことぐらいしか自分でできることってないので。日頃は自分がやらないといけないわけですから。やっぱりきれいに歯石をとって頂いた後ってというのは、あ～きれいになったな、血もあんまり出ないな～ってというのは実感しました。

治療中は磨くのが楽しかったです。徐々に出血もなくなってきましたね。そのうち、出血する方が異常って感じですね。とにかく1日2回朝と晩は必ずやっていて、30分くらいは時間をかけてがんばりました。

S…診療前はあんまり時間をかけてなかったですか?

Mさん…そんなにかけてなかったですね。恐らく、磨いて、べってやったときに出血するのが怖いのと不安なのがあって、だからやりたくないんですよ。で

もやらないとちょっとひどくて板挟みの状態です。やりましたから。だから何度やっても出るものは出るし、これ、やったら出るんだってね。変な解釈をしたりしていました。今では習慣的に1日3回やりますから、自動的に磨けている状態ですね。だから、4回くらいやるときもありますよ～。

S…では、これからも3カ月ごとに検診にお越しいただくということ?

Mさん…それは心引き締めるためにも、毎回チェックしていただくって、この関門みたいなのがなければ、そりゃあどどん緩んでいきますね～。また、季節ごとにご挨拶って感じで。

S…そうですね。お会いできてお話ができれば楽しいです。

Mさん…本当に申し訳ないんですけど、やっていたいてあるところくらいからガーッと寝てる感じなんですよ。適当に返事してるようで、もう意識は眠っているってくらいにまあ気持ちよくしていただいて、特に歯を磨くっていう工程は、人に歯を磨いてもらうってこんなに気持ちのいいことなかなって、いつも思います。

S…そういう風にリラックスして楽しんでいただけるのなら嬉しいです。

Mさん…人の歯をね、申し訳ないと思いますけどね～。

S…いえいえ、私は喜んで楽しんでやっていますから。今後ともよろしく願います。

Mさん…ありがとうございます。よろしく願います。

S…ありがとうございました。



当院の隅田

